

2017年1月23日

各位

全国海運組合連合会

六級海技士<航海・機関>短期養成科 4.5ヶ月コース

訓練生募集のご案内

今般、一般財団法人 尾道海技学院より、六級海技士<航海・機関>短期養成科訓練生について募集の案内が参りましたので、別紙の通りご案内致します。

資格取得には通常2年間以上の実務経験が必要なところ、本コースでは2ヶ月の乗船実習によって機関部当直部員資格が取得でき、卒業後6ヶ月以上の実務経験により、国家試験は身体検査のみの受験で六級海技士資格が取得できます。現在の制度において民間完結型では最短で資格取得ができるのが特徴です。

尚、詳細につきましては以下へ直接お問い合わせ下さい。

一般財団法人 尾道海技学院

電話 0848-37-8111

ホームページ <http://www.marine-techno.or.jp>



以上

平成29年度

訓練生募集

就職 転職

を目指す社会人対象



六級海技士 航海科
六級海技士 機関科



海を仕事にしませんか？
海運業界では、皆さんのヤル気を待ってます。

教育訓練給付制度(厚生労働省)指定講座申請中

六級海技士(航海)養成短期養成科

	4月入学生	7月入学生	11月以降開講予定
定員	15名	24名	詳細は未定
募集期間(出願期間)	1月10日～2月15日	5月10日～6月12日	
選考日時	3月13日(月) 10時	6月19日(月) 10時	
訓練実施期間	4月1日～8月28日	7月20日～12月11日	

内燃六級海技士(機関)養成短期養成科

	7月入学生	10月末以降開講予定
定員	24名	詳細は未定
募集期間(出願期間)	5月10日～6月12日	
選考日時	6月21日(水) 10時	
訓練実施期間	7月25日～12月19日	

※定員に満たない場合は中止されることがあります。

入校資格	講習開始日までに18歳に達し、選考試験に合格した方
選考試験場所	一般財団法人尾道海技学院(尾道海技大学校)
選考試験内容	■面接 ■筆記試験 ■その他(身体適性・書類審査)
訓練目標及び訓練で取得できる資格	この養成科では、全く乗船経験がない方(通常では2年以上の乗船履歴が必要)でも、短期間(約10.5ヵ月)で、職業船員の登竜門である「六級海技士(航海)」又は、「六級海技士(機関)」の資格が取得でき、船長や機関長への道が開けます。
受講のために必要な費用	裏面参照

※離職後雇用保険受給資格のある者は、船員の「公共職業訓練等」の制度が利用できる。公共職業訓練等の指示を受けることにより、受講中に失業保険や技能手当等受給可能。

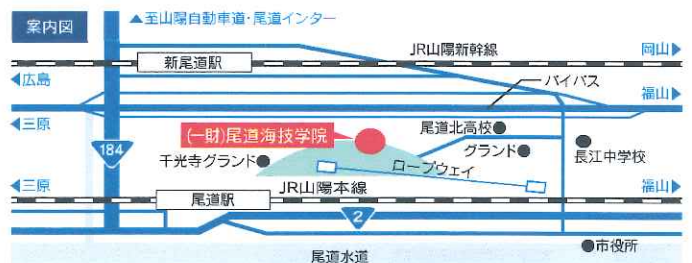
一般財団法人 尾道海技学院
尾道海技大学校

広島県尾道市栗原東二丁目18-43

TEL.0848-37-8111 FAX.0848-37-8110

訓練実施施設までの交通手段

- ・山陽新幹線新尾道駅よりタクシーで7分
- ・山陽本線尾道駅よりタクシーで10分



平成29年度訓練生募集 就職・転職を目指す社会人対象

① 特徴、セールスポイント

- 内航船舶への就職に求められる六級海技士免状(航海・機関)の取得には通常は2年以上の実務経験が必要です。
本科では4.5ヶ月の訓練過程を修め、卒業後6ヶ月以上の実務経験を積み、身体検査に合格すれば六級海技士免状が取得できます。
- 4.5ヶ月のカリキュラムのうち、2.5ヶ月は本校で座学と実習を行い、2ヶ月は実際の内航船舶等に乗船して実習を行います。
(機関科は工場実習も行います)

② 想定している受講生 (こんな方に受講してほしい)

- 海が好きで憧れているが、今まで船員になるための教育を受けてない方
- 短期間で、海技士資格を取得し、船員として就職を目指し、協調性と向上心のある方
- 海洋環境にやさしい大量輸送手段である船舶で、環境保全に貢献したい方
- 船長や機関長を目指し、目標に向かって努力することのできる方

③ 就職先で想定している 知識・技能(スキル)

- 船舶育成に関する法令・基準に従い、船員として必要な基礎的な知識、技能を指導していきます。
- 船員としての心得・認識・価値観が持てるよう、特色のあるカリキュラム編成を行います。
- 海運業界の動向や船舶の運航形態など最新情報を提供し、業界に必要な人材の養成に努めます。
- 社船実習では、個々のレベルや特性を考慮し、シーマンシップが育めるように展開していきます。

④ 就職支援の内容

1. 職業相談の実施
2. 履歴書作成指導
3. 面接にあたっての指導
4. 求人情報の提供
5. 各種就職説明会の案内

⑤ 受講支援の内容

1. 船員の「公共職業訓練制度」が利用できる。(受給資格条件あり)
2. (公財)日本船員雇用促進センター船舶職員養成制度指定(授業料無料に指定条件あり)
3. 教育訓練給付制度(厚生労働省)指定講座申請中(給付に条件あり)
※詳細は、ご相談下さい。

⑥ 受講に必要な費用

1. 受講料 航海コース(415,000円) 機関コース(417,500円)
(資格取得費・教本/教材費・保険料含む)
2. 作業服・安全靴・帽子等の作業用品 約12,000円(実習船により指定の作業服が貸与される場合有)
3. 社船の費用 実習船における実習期間中の宿泊費・寝具等の負担はないが、食費(1日あたり3食1,300円程度)は訓練生負担
4. 社船のための交通費 実習船の停泊している乗船地までの交通費及び下船地よりの交通費は訓練生負担
5. 宿泊費
6. その他 オプション資格取得等
※詳細は、募集要項をご参照ください。

⑦ 訓練の内容

六級海技士(航海)の科目の内容			六級海技士(機関)の科目の内容			
科目	内容	時間	科目	内容	時間	
学科	航海学Ⅰ	国内航海における航海術(航海計器・航路標識等)	学科	機関Ⅰ	出力装置・プロペラ装置	
	航海学Ⅱ	国内航海における総合航海術(航海計画・地文及び電波航法等)		機関Ⅱ	補機・電気/電子工学・自動制御の概要と計測器・甲板機械	
	運用学Ⅰ	船舶の構造・設備・貨物の積み付け・船の安定(復元性)		執務一般	燃料油/潤滑油・操船工学・機関に関する基礎知識	
	運用学Ⅱ	操船・海象及び気象・非常時の措置(衝突・乗揚げ・火災・救助・救援)			当直及び保安救急・船舶による環境汚染防止・損傷制御	
	海事法規	海上交通法規・海事関係法規(海洋汚染防止・船舶安全法)			電気設備・船内作業の安全・海事法令及び国際条例	
就職指導	船員法に定める船内生活及び船内作業における安全・衛生 履歴書の書き方・面接対応	3	履歴書の書き方・面接対応	5		
実技	航海実技Ⅰ	(1)航海術(航海計器・航海標識・水路図誌・潮汐及び海流)の演習 (2)速力計算・自差測定・陸標及び航海計器による船位測定の実習	実技・実習	就職指導	5	
	航海実技Ⅱ	(1)総合航海術(備讃瀬戸・来島海峡・航海計画及び航海)の実習 (2)海事法規の応用実習・航海当直及び停泊当直等の実習		機関実技Ⅰ	ディーゼル機関整備	38.5
	運用実技Ⅰ	(1)船舶の構造・設備・船の安定(復元性)実務確認 (2)操船の実習・気象海象の演習		機関実習Ⅱ	補機整備(操舵・ポンプ・工具・船内工作機等)	31.5
	運用実技Ⅱ	安全衛生・非常時の措置(救急法・AED・水上安全法等)の実習		機関実習Ⅲ	自動制御・計測装置の取扱	
	乗船実習	(1)海技教育機構の練習船で訓練 (2)実際の内航船舶に乗船し、実務を習得		機関実習Ⅳ	船内応急工作	
	計	670時間		計	670時間	

⑧ 就職の実績

この養成科の船員職への就職率 **93.5%** (平成28年6月末までの各回平均実績)

訓練実施施設名 一般財団法人尾道海技学院
尾道海技中学校
所在地 〒722-0025 広島県尾道市栗原東二丁目18-43

TEL・FAX TEL.0848-37-8111 FAX.0848-37-8110
ホームページ <http://www.marine-techno.or.jp>
E-mail onomichi@marine-techno.or.jp

平成29年度
第13回 六級海技士（航海）短期養成科 募集要項

—航海士・船長への道—

航海士や船長となるために、社会人をはじめ高等学校卒業した方や同等の能力を有する18歳以上を対象にしたコースです。

授業は座学と社船実習（民間の商船）を効果的に組み合わせ、海運業界が求める専門技術や即戦力化に対応した「民間完結型の六級海技士（航海）養成制度」を導入して行います。

座学2.5ヶ月と社船実習船2ヶ月を修了すれば、本科と海技免許講習の修了証明書が交付され、認定申請をすると「甲板部航海当直部員」資格が取得できます。

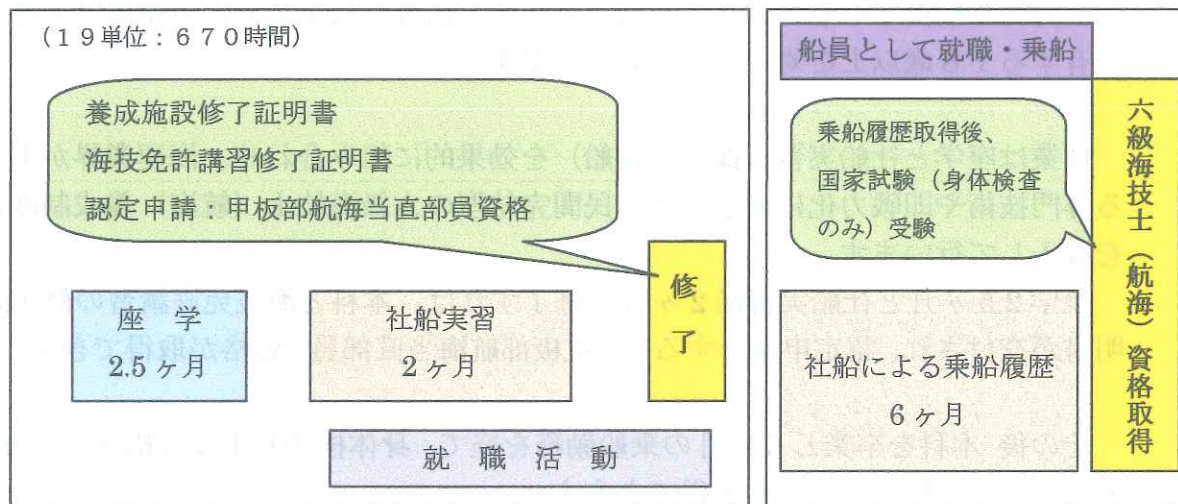
その後 本科を卒業し6ヶ月の乗船勤務を経て、身体検査基準に合格することで六級海技士免状（航海）が取得できます。



1. 募集課程・定員・履修期間

募集課程	定員	履修期間
六級海技士（航海）短期養成科	15名	4.5ヶ月

2. 履修方法 期間 4.5ヶ月：平成29年4月1日～平成29年8月28日（予定）



座学の2.5ヶ月は尾道海技学院で実施し、社船実習の2ヶ月は民間の商船（実習船として認められた船舶）で教員（指導員として認められた航海士・船長）の指導により実施する。

3. 入学資格

受講開始日までに18歳に達し、入学試験に合格した者

4. 特典

- ・本科を修了後、甲板部航海当直部員の認定を受けることができる。
- ・在講中に海技免許講習（必須）及び第2級海上特殊無線技士講習（選択）が受講できる。
- ・卒業後、6ヶ月の乗船勤務履歴で六級海技士（航海）の受験資格が得られ、筆記試験免除で身体検査のみ受験し、合格すれば六級海技士（航海）免状が取得できる。
- ・船員の「公共職業訓練等」の制度が利用できる。離職後雇用保険受給資格のある者は、公共職業訓練等の指示を受けることによって、受講中に失業保険や技能手当等の受給が可能。
- ・講習中に五級海技士（航海）の筆記試験が受験できる（選択）。

5. 出願手続き

(1) 出願書類

- ①入学願書 所定の願書を使用すること。
- ②健康診断書 所定の診断書を使用し、医師の診断を受けること。
- ③写真5枚 3 cm × 3 cm (最近3ヶ月以内に撮影・上半身脱帽正面)
※いずれも裏面に氏名・生年月日を記入し、1枚は入学願書に貼り付ける。
- ④卒業証明書または成績証明書(卒業証書のコピー可)

(2) 入学選考料：30,000円

振込先：三井住友銀行 尾道支店

普通口座 0725650

(名義) 一般財団法人尾道海技学院 尾道海技大学校

(3) 出願方法

上記の出願書類を入学願書在中封筒に入れて、出願期間内に送る。
入学選考料振込の控え(コピー)も同封のこと。

(4) 出願上の注意

- ①入学願書は、本人自筆により楷書ではっきり記入のこと。
- ②提出書類は、黒のボールペンまたは黒のペンを使用のこと。
- ③一度受理した出願書類及び選考料は、理由の如何を問わず返還しない。
- ④定員になり次第募集を締め切る。
最少催行人数に達しない場合は、開講しない。

6. 入学試験

- ①入学試験日：出願期間内必着で郵送する。

平成29年3月13日(月)

出願期間 平成29年1月10日～平成29年2月15日

- ②試験内容 10時より筆記(小論文含む)試験に引き続き面接試験

- ③試験会場 一般財団法人 尾道海技学院 尾道海技大学校
広島県尾道市栗原東二丁目18番43号

7. 合格発表・入学手続き

- ①合格発表 入学試験日から3日後に郵送で通知する
- ②手続き 合格者に別途案内する

8. 入学式

平成 29 年 4 月 1 日（土曜日）10 時より

9. 学費等：415,000円（税込）

《内訳》	授業料	210,400円
	実習・資格費	146,000円
	教本・教材費	30,600円
	保険料付保費	28,000円

（注）別途費用（⑤と⑥は選択）

①実習に必要な作業服等 約12,000円

②乗船実習のための移動費

③社船実習時の食費 80,000円（2ヶ月分）

④宿泊費

学生寮の場合は約220,500円（朝夕2食付・2,5ヶ月分・定員有）

⑤第2級海上特殊無線技士受講料51,430円

⑥五級海技士（航海）受験料 約9,000円

10. 講習実施機関・お問い合わせ

一般財団法人 尾道海技学院 尾道海技大学校

電話 0848-37-8111



六級海技士(航海)第一種養成施設 入 学 申 請 書

私は、貴学院が実施する六級海技士(航海)第一種養成施設の課程を受講したいので下記のとおり入学を申し込みます。

平成 年 月 日

一般財団法人 尾道海技学院
尾道海技大学校 校長 殿

申込者氏名 印

ふりがな				性	男	生年	昭和	年	月	日
入学者名 氏名				別	女	月日	平成			
現住所	〒 -					本籍の 都道府 県名	都道 府県			
電話	自宅			(携帯等)						
入学の 希望の日	平成 29 年 4 月 1 日									

最終 学歴	学 校 名			卒業(中退)の年月日					
	普通教育				昭和 平成	年	月	日	卒業 中退
	船員教育				昭和 平成	年	月	日	卒業 中退
現職 離職 (受講時の状態を○で囲んでください)									
履 歴	現職者 記入欄	会社名				職名			
		会社住所	〒 -						
	離職者 記入欄	(直前の) 会社名	電話 () -						
書	所有海技資格等								
	海技資格等の種類			免許年月日			免許番号		
	級海技士(航海)			昭和 平成	年	月	日	第	号
	級海技士(機関)			昭和 平成	年	月	日	第	号
	級小型船舶操縦士			昭和 平成	年	月	日	第	号
特殊小型船舶操縦士			平成	年	月	日	第	号	

この申請書に記載された内容は、本講習以外の目的には使用しません。

健康状態表

ふりがな 氏名	生年月日	S・H	年	月	日生
	性別	男 ・ 女			
学校・回	尾道海技大学校		六級海技士（航海・機関）短期養成科 第 回		
連絡先	〒 住所	電話番号			


- この頁は本人が記入すること。また、※印は該当する方に○を記し、“あり”の場合は詳細を記入すること。
- 健康状態に関する申告は、ご自身が実習訓練を円滑に実施するために重要なものであり、不利益になるものではありません。漏れの無いよう記載をお願いします。

1. 気管支喘息及びアレルギー疾患（アトピー性皮膚炎・食物アレルギー・アレルギー性鼻炎・薬アレルギー等）				
※ あり ・ なし		“なし”の場合でも、宗教上の理由等で食せない食材がある場合は、アレルギー欄に詳細を記入すること。		
病名等	時期	アレルギー	発症時の症状及び現在の状況	使用薬品名及び用法
[例] 気管支喘息	10歳から	運動誘発性	過激な運動をすると発作がおこる	吸入薬 ○○○ 発作時

2. 上記1.以外の過去にかかった病気又は通院歴、治療歴（現在治療中のものも含む）				
※ あり ・ なし		- 眼科・耳鼻咽喉科・整形外科・心療内科等を含む -		
病名等	時期	治療内容 (入院、手術、服薬など)	現在の状況 (完治、服薬中、経過観察中等)	使用薬品名及び用法
[例] 腰痛	○年○月から	過去に通院 痛み時に外用薬	経過観察中 長時間座ると痛くなる	○○○(○mg) , 食後

3. その他、現在の自覚症状や気になる症状	

検査年月日	
血液型 (ABO式/Rh式)	
身長 (cm)	
体重 (kg)	
腹囲 (cm)	
血圧 (mmHg)	
視力 右/左 (矯正視力)	
聴力 右/左	
握力 右/左 (kg)	
肺活量 (ml)	
色覚	
四肢運動「身体検査 合格標準表」6.に 係る検査	

胸部 X線 検査	所見	〈直接/間接〉 
	尿検査	蛋白 糖 *
	その他	*
	現症及び 注意事項等 医師所見	
	担当医師印	

- 注) 1. 「身体検査合格標準表」に基づき、医師が必要と認めた諸検査等を実施し、必要に応じ診断書を添付する。
2. *印の欄は、医師が必要と認めた検査又は、特に指定した検査の結果を記入する。

「身体検査合格標準表」（船員法施行規則 第55条 第2号表）

次の各号のいずれかに該当する者は不合格とする。

- 船員法第八十一条第三項第一号の伝染病として下記のいずれにかかっている者
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザAウイルスであつてその血清型がH5N1であるものに限る。）、コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、ウエストナイル熱、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、サル痘、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、デング熱、東部ウマ脳炎、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、ブルセラ症、ペネズエラウマ脳炎、発しんチフス、マラリア、野兔病、リフトバレー熱、類鼻疽、レプトスピラ症、ロッキーマウンテン斑熱、アムエバ赤痢、急性ウイルス性肝炎、クリプトスポリジウム症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、髄膜炎菌性髄膜炎、梅毒、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成十年法律第百十四号）第六条第七項から第九項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症又は新感染症
- 視覚機能、言語機能又は精神の機能の障害により作業を適正に行うに当たつて必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができないと認められる者
- 第一号に掲げる疾患を除く下記の疾患にかかっている者で船内において治療の見込みがなく、かつ、実習に適さないと認められる者
各種結核性疾患、新生物、糖尿病、心臓病、脳出血、脳梗塞、肺炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、肝硬変、慢性肝炎、じん臓炎、急性ひ尿生殖器疾患、てんかん、重症ぜんそくその他の疾患
- 下記の視力、聴力及び握力の標準に達しない者
(1) 視力（万国視力表により検査した視力で矯正視力を含む。）航海科は両眼共に0.5号、機関科は両眼で0.4号を明視しうること。
(2) 聴力 両耳で、5メートル以上の距離で話声を聴取できること。
(3) 握力 男子の握力は、左右共に25キログラム以上、女子の握力は、左右共に17キログラム以上であること。
- 色覚に異常を有する者
- 運動機能の障害により実習訓練が困難と認められる者
- 病後の衰弱により一定期間内の実習訓練が困難と認められる者